

は やま

# 羽山

校訓：敬愛・探究・勤労

教育目標：豊かな情操をもち、自立的に生きる生徒の育成

文責：柴田町立船迫中学校長 曾根 秀輝

## 試合ができることに感謝！～柴田郡中体連「交流会」～

現在、本校では新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、通常に近い形で部活動を行っています。7月23日(木)・24日(金)の「交流会」は、規模を縮小して「練習試合並み」に行いますので、3年生にとって十分に満足な内容ではありません。しかし、交流会への参加を希望する3年生の運動部員は、交流会にベストな状態で臨むことができるように、現在、練習に励んでいます。また、7月4日(土)からは、他校と合同で練習ができるようになりました。

そこで、各運動部の3年生に、交流会に臨むにあたっての抱負(郡中総体が中止になった時の気持ちや現在の部の雰囲気、そして、最後の試合にかける決意など)を書いてもらいましたので、紹介します。

1年生5名が入部して、人数も増え、練習ではみんなが一つになるよう努力してきました。活動はとても良い雰囲気でみんな仲良しです。交流会では、川崎中を倒せるように、日々の練習で力を付けてきました。だから、本番の試合では川崎中、槻木中に勝てるようにみんなで頑張ります。

バレーボール部3年 村上透望さん

新型コロナウイルス感染症の影響で中総体が中止となりましたが、その代替の交流会に参加することになりました。ソフトテニス部の目標である「悔いなく終わる」を本番の試合で叶えることができるような練習をしていきたいです。本番当日、試合内容を実りのあるものにするために、残りの時間を大切にしたいです。今までより、気を引き締めて練習に臨み、本番ではより良い結果を残せるように頑張りたいです。

ソフトテニス部3年 大友沙織さん

中総体が中止になり、その中で交流会という形ではありますが、試合ができることに感謝したいです。一度は目標を失ってしまった私たちですが、今では伸び伸びと最後の部活動を楽しんでいます。引退という言葉にまだ実感は湧きません。しかし、最後の一日まで、私たちなりに精一杯努力して、交流会に全ての思いをぶつけていきたいと思います。

バドミントン部3年 大坂ひなたさん

僕たち野球部は交流会に向け、良い緊張と適度なあせりを感じながら日々練習しています。3か月前の練習より皆が真剣に練習し、勝ちたいという気持ちが伝わってきます。交流会での対戦校は強く、なかなか厳しい試合になるかも知れませんが、最後まで全力で戦いたいと思います。 野球部3年 村上 岬さん

僕たちバスケ部は交流会での勝利に向けて1年生から3年生までチーム一丸となって毎日の練習に取り組んできました。辛い練習もありましたが、仲間と声を掛け合いながら頑張ってきました。だから、その成果を十分に発揮し、絶対に相手校に勝ちたいと思います。 バスケットボール部3年 横山凌雅さん

中総体がなくなったことはかなりショックでしたが、今はしっかり気持ちを切り替え、3年生は交流会に向け、1、2年生は秋の新人大会に向け、部員が団結して練習に取り組んでいます。僕たち3年生は残り約2週間しか部活動ができないので、悔いの残らないように最後の練習を頑張っていきます。

卓球部3年 佐藤成太さん

新型コロナウイルス感染症の影響で、3年生にとって最後の中総体がなくなり、皆がっかりしていました。しかし、交流会ができるということで、気持ちを切り替えて皆で楽しく練習しています。剣道部の雰囲気はとても良いです。最後の試合、悔いの残らないように戦ってきます!! 剣道部3年 藏田佳氣さん

新型コロナウイルス感染症の影響で中総体が中止になってしまい、部員全員が本当に残念な気持ちになりました。しかし、中総体が中止になってしまった分、交流会まで一つ一つの練習を大切に、本番は悔いのないよう、全力で戦ってきたいです。応援よろしくお願いします。 ソフトボール部3年 鈴木彩水さん

交流会がサッカー部として大切な区切りになります。これまで小学校のFCから共にしてきた仲間や、昨年合同チームだった槻木中、保護者、先生方との想いを込めて試合に臨みたいと思います。対戦する槻木中学校は他の学校よりも交流を深めてきたチームなので、楽しく、感謝を込め、全力でプレーしたいと思います。勝敗にこだわらず、最後は皆笑顔でしめくりたいと思います。応援よろしくお願いします。 サッカー部3年 佐藤琉菜さん

去年の東北大会は、あと少しのところに入賞を逃して、「来年は頑張ろう！」と思い、1年間練習してきました。そんな中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中総体が中止になり、とても悲しかったし、悔しかったです。しかし、交流会という形で最後に泳ぐ機会をもらえたので、今まで練習してきたことを、全力で出し切るように頑張りたいです。 水泳3年 豊川蓮音さん